※令和４年度以降入学生用

学校番号	3028

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	NEXT 数学Ⅰ（数研出版）						
副教材等	CONNECT 数学Ⅰ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○　授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。また、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。

○　授業用ノートと問題集用ノートを用意してください。授業用ノートについては、板書を書き写すだけではなく、自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などを記入してください。問題集ノート、まず問題を自分で解いてください。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしてください。また、各自答え合わせをして、自分がどこでつまずいたかを確認してください。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

（２）命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

（３）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理･法則を体系的に理解し､事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現･処理したりする技能を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりしている。	数学のよさを認識し数学を活用しながら、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数と式	第１節　式の計算 １　単項式と多項式 ２　多項式の加法・減法・乗法 ３　因数分解	a:乗法公式、因数分解の公式の意味を理解する。式を目的に応じて変形することができる。 b:学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ
		第２節　実数 ４　実数 ５　根号を含む式の計算	a:数を実数まで拡張することの意義や実数が数直線上の点と１対１に対応していることを理解する。無理数の計算ができる。 b:知識や技能を有効に活用し、論理的に考察し表現する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力などを身に付けている。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ
		第３節　一次不等式 ６　不等式とその性質 ７　一次不等式の解法 ８　不等式の応用	a:一次不等式の解を求めることができる。 b:不等式の理解を深め、式が表現している内容を考察することができる。 c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ 発表	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ 発表

※令和４年度以降入学生用

	第２章　集合と論証	第１節　集合と論証 １　集合 ２　命題と論証	a:集合と命題に関する基本的な概念、原理・法則などを理解している。 b:集合の考えを論理的に考察し、簡単な命題の証明について考察することができる。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ
	第３章　二次関数	第１節　関数とグラフ １　関数 ２　二次関数とそのグラフ ３　二次関数の最大・最小 ４　二次関数の決定	a:二次関数の特徴について理解する。二次関数のグラフを描くことができる。 b:二次関数の式とグラフについて、多面的に考察することができる。 c:二次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち、それらを二次関数の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ
２学期		第２節　二次方程式と二次不等式 ５　二次方程式の解法 ６　二次方程式の実数解の個数 ７　二次関数のグラフとｘ軸の共有点 ８　二次不等式 ９　二次不等式の応用	a:二次関数の概念を理解し、最大値や最小値、二次方程式・二次不等式の解を求めることができる。 b:知識や技能を有効に活用し、論理的に考察し表現する力、表や式やグラフを相互に関連付けて考察する力、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力などを身に付けている。 c:二次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し、値の変化や二次方程式・二次不等式の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ 発表	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ 発表
	第４章　図形と計量	第１節　三角比 １　直角三角形と三角比 ２　三角比の相互関係 ３　鈍角の三角比	a:鋭角の三角比の意味と相互関係を理解し、他の三角比の値を求めることができる。 b:三角比の性質や相互関係を考察することができる。 c:三角比の有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ

※令和４年度以降入学生用

		第２節　図形の計量 ４　正弦定理と余弦定理 ５　三角形の面積 ６　空間図形の計量	a:正弦定理､余弦定理を理解し、それを用いて平面図形や空間図形の計量ができる。 b:図形の構成要素間の関係に着目し、問題解決や考察ができる。 c:正弦定理や余弦定理の有用性を認識し、平面図形や空間図形の計量に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ 発表	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ 発表
３学期	第５章　データの分析	第１節　データのちらばり １　データの分布とグラフ ２　分散と標準偏差 第２節　データの相関 ３　散布図と相関係数	a:データの分析における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識・技能を身に付けている。 b:データの傾向を捉え、それらを的確に表現することができる。 c:分散及び標準偏差・相関などを用いて事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ
		第３節　仮説検定の考え方 ４　仮説検定の考え方	a:具体的な事象において、仮説検定の考え方を理解することができる。 b:主張の妥当性について、実験などを通して判断や批判的な考察ができる。 c:問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ 発表	提出ﾉｰﾄ 振返ｼｰﾄ 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度